

面接時の求職者の返答・態度で見分けるポイント

	チェックポイント	チェック
1	過去の職場での良かった事を細かく説明させる (良かった事を発見できない人は問題が多い)	
2	前職の悪口のみを言う場合は要注意 (すべてが悪いと言う表現は、そういう物の見方しかできない場合が多い)	
3	過去の職場での業務内容の質問を、より深く、詳細に何回も聞く (中途半端な経験者は、詳細な事やその業務での真因は知らない)	
4	過去の職場の転職理由を聞き、「何故」そうしたのか、論理的に納得のいく回答があるかどうかを見る (自己本位の解釈なら、また同じことを繰り返す可能性がある)	
5	当社と言うよりは「この業界」を選んだ理由を、納得のいく論理的な答えがでるまで聞く	
6	ホームページやメディア掲載事項のみで、お世辞がやたら多い場合は「何故、そう思うか」を論理的に聴きこむ (お世辞をやたら言う人材は怪しい場合もある)	
7	今回の採用で「他の候補者でなく、貴方でなければならない理由、貴方を採用すると、当社はどんなメリットがあるか、説明してください」と振る	
8	自分の「強み」を説明してもらおう。「強み」が性格だけでなく、理論的な内容かを見る	
9	「好きではない人と仕事をしなければいけなかった時のことを教えてください」と振り、その答えは仕事の為に割り切れるかどうかを見る	
10	転勤や配置転換、残業があっても問題ないか聞く	
11	前職時代の給与額ではない場合、最低いくらが必要か聞く。またそのギャップを埋める為には、自分はどのような仕事姿勢を取るかを聞く	
12	「当社を含め、貴方が会社を辞める意思決定をする基準を教えてください」と振る。それが給与以外で自己都合の表現かどうかを見る	
13	「貴方が思いっきり仕事の成果を上げる条件や環境は、どんな事ですか」と振る。その回答が仕事中心ならOK、自己中心なら要注意	